

東京芸術劇場 世界のマエストロシリーズ vol.3

小林研一郎 & 読売日本交響楽団

炎のコバケン、マーラー「復活」への極み

マーラー作品と相性の良い芸劇で、得意のレパートリーでは他の追随を許さないコバケン&読響による至高の「復活」いよいよ公演決定!

復活

© 青川 研一



© kei Uesugi



© 読売日本交響楽団

SATOMI OGAWA
CHRISTINA DALETSKA

Auferstehung
KEN-ICHIRO KOBAYASHI

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

S ¥6,500 AY5,500 BY4,500 CY3,500 DY2,500

G. マーラー / 交響曲第 2 番 八短調「復活」

Gustav Mahler / Symphonie Nr.2 "Auferstehung"

チケット取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

<http://www.geigeki.jp/t/>

チケットぴあ (Pコード:247-093) 0570-02-9999

イープラス <http://eplus.jp/>

ローソンチケット 0570-000-407

(Lコード:34790) 0570-084-003

2015/4/24 [金] 19:00開演

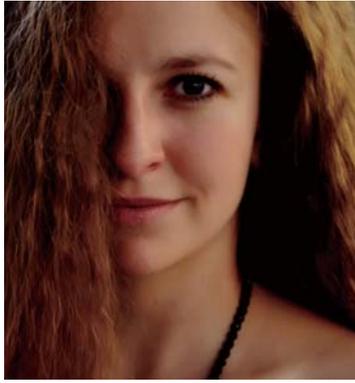
東京芸術劇場 コンサートホール

19:00.24.April at Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

東京芸術劇場 世界のマエストロシリーズ vol.3



小川里美



クリスティーナ・ダレツカ



2015
4/24 **金** **19:00開演**
 (ロビー開場18:00)

指揮:小林研一郎
 ソプラノ:小川里美 メゾソプラノ:クリスティーナ・ダレツカ
 合唱:東京音楽大学合唱団 管弦楽:読売日本交響楽団

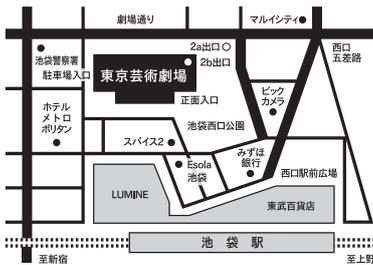
G.マーラー / 交響曲 第2番 ハ短調「復活」

全席指定(税込) S席6,500円 A席5,500円 B席4,500円
 2014年12月9日(火)発売 C席3,500円 D席2,500円

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 ※一部携帯電話、PHS、IP電話からはご利用いただけません。
<http://www.geigeki.jp/t/>
 チケットぴあ ※24時間受付(メンテナンス時間を除く) 0570-02-9999 [Pコード:247-093]
<http://pia.jp/t/>
 イープラス 0570-000-407 (オペレーター対応10:00~20:00)
<http://eplus.jp/>
 ローソンチケット 0570-084-003 [Lコード:34790]
<http://l-tike.com/>
 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (10:00~19:00)
<http://www.t-bunka.jp/>

東京
 芸術
 劇場

〒171-0021 東京都
 豊島区西池袋1-8-1
 TEL:03-5391-2111
 <アクセス> JR、東京メトロ、東
 武東上線、西武池袋線池袋駅
 西口より徒歩2分、池袋駅地下
 通路の2a出口で直結しています。



主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) <http://www.geigeki.jp/>

協賛:東武鉄道株式会社 <http://www.tokaido.co.jp/> これからも、ずっと、あなたの始発駅

事業提携:読売日本交響楽団

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

※未就学児の入場はお断りいたします。 ※公演内容につきましては変更が生じる場合がございますのでご了承下さい。公演中止の場合を除き、チケットの払い戻しは致しません。

指揮◎小林研一郎

東京藝術大学作曲科および指揮科の両科を卒業。作曲を石冢眞礼生、指揮を渡邊曉雄、山田一雄の各氏に師事。1974年第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞。「ブラハの春」、「アテネ」、「ルツェルン・フェスティヴァル」等、多くの音楽祭に出演。また、ヨーロッパの一流オーケストラを多数指揮。ハンガリー国立響及びネザーランド・フィルのヨーロッパ、日本公演や、東京都響、読響、日本フィルのヨーロッパ公演の指揮者、国際指揮者コンクール審査員、都響正指揮者、東響客演指揮者、京都市響常任指揮者、ハンガリー国立響音楽総監督・常任指揮者、チェコ・フィル常任客演指揮者、日本フィル音楽監督、マタフ・ハンガリー交響楽団首席客演指揮者、アーネム・フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者などを歴任。ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章(民間人としては最高の勲章)、2010年にはハンガリー文化大使の称号を授与される。2011年文化庁長官表彰を受ける。現在、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者、九州交響楽団首席客演、東京芸術大学、東京音楽大学およびリストラ音楽院の名誉教授。2012年7月より東京文化会館音楽監督に就任。ポニーキャニオン、オクタヴィア・レコードの両社から数多くのCD、DVDが発売されている。著書にエッセイ集「指揮者のひとりごと」(日本図書協会選定図書)。また、2000年の日蘭交流400周年の作曲を委嘱され、両国をモチーフにした管弦楽曲「バッサカリア」を作曲(CDはオクタヴィアから)。ネザーランド・フィルにて初演され、4日間にわたり満員の聴衆の熱狂的スタンディング・オベーションで迎えられた。2002年5月の「ブラハの春音楽祭」オープニングコンサートで指揮者として、東洋人では初めて起用され、大統領臨席のもと「我が祖国」全曲がチェコ・フィルにて演奏され、スメタナホール満員の聴衆からのスタンディング・オベーションが長く続いた。また、コンサートの模様は全世界に向け同時放送され、日本人初の快挙として国内外の数多くのメディアで紹介された(同公演のDVDはコロムビアミュージックより発売中)。2003年6月にはハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団を率いての日本公演指揮、同年9月には10数年ぶりにオペラに登場、ブッチーニ「蝶々夫人」(二期会公演)、2005年6月にはマリンスキー・ヤング・フィルとの日本公演、2006年5月には日本フィルの創立50周年記念ヨーロッパ公演、2007年および2009年にはオランダのアーネム・フィルハーモニー管弦楽団との日本ツアー、また2014年には8年ぶりにハンガリー国立フィル来日公演を指揮し、好評を博した。国内外のオーケストラへの客演も数多く、現在最も活躍し注目されている指揮者である。2013年秋の叙勲で、これまでの功績により旭日中授章が授与された。
 オフィシャルウェブサイト <http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>

ソプラノ◎小川里美

東京音楽大学ならびに同大学院終了。在学中に留学生特別奨学金を得てザルツブルグに留学。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外留学制度奨学金を得てミラノに留学。これまでに国内外でのオペラや演奏会に出演、アレナ・ディ・ヴェローナ・オーケストラ、新日本フィル、読響、東京シティフィル、京響、大阪フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、他と共に、09年ヴェローナのテアトロ・フィラルモニコにおいて「トゥーランドット」のタイトルロールでイタリアデビュー。また、2009年シャネル・ピグマリオン・デザイ アーティストとして1年間ソロコンサートを行う。11年、東京・京都で行なわれたマスカニー「イリス」にタイトルロールで出演。同年8月にはイタリア・トッレデルラーゴにおいて上演された第57回ブッチーニ・フェスティバル「トゥーランドット」に出演した。第19回日本音楽コンクール第三位。第44回日伊声楽コンクール第三位。09年トゥーランドット国際コンクール優勝者。これまでに鈴木靖子、高橋啓三、成田繪智子、野村陽子、M・レアーレ、横山修司の各氏に師事。

メゾソプラノ◎クリスティーナ・ダレツカ

ウクライナ生まれ。4歳からヴァイオリンを始め、2006年スイスに留学してルース・ローナーに声楽を師事する一方、ミハエル・シャーデ、トーマス・クヴァストホフ、マルヤナ・リボヴシェク、クリスタ・ルードヴィッヒへも学ぶ。タリアヴィーニ国際、ウィーン・バルヴェデーレ国際各声楽コンクール受賞。2008年マドリードのリアル劇場で「セビリアの理髮師」のロジーナを歌ってオペラデビューを果たす。以降、リオン国立歌劇場、チューリッヒ歌劇場等主要オペラハウスへ登壇して「フィガロの結婚」ケルビーノ、「イドメネオ」イドメネオ、「チェネントラ」チェネントラ、「椿姫」フロラ等を演じている。コンサート分野でも幅広いレパートリーを誇り、ピエール・ブーレーズ、リカルド・ムーティ、クリストファー・ホグウッド、ダニエル・ハーディング、準・メルクル、トーマス・ハンゲルブルック、クリスチャン・アルミンク等名指揮者の数々と共演を重ねている。

管弦楽◎読売日本交響楽団

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。創立以来、世界的な巨匠を指揮台に招くとともに、世界の名だたるソリストと共演を重ねている。現在、シルヴァン・カンブルランが常任指揮者を務め、名誉顧問には高円宮妃久子殿下をお迎えしている。東京のサントリーホールでの《定期演奏会》を軸に充実した内容で演奏会を多数行っている。また、社会貢献活動として、小中学校や病院での演奏活動や地域密着型のコンサートを開催するなど、クラシック音楽のすそ野拡大に地道な努力を続けている。なお、《定期演奏会》などの様子は日本テレビ「読響シンフォニックライブ」で放送されている。 <http://yomikyo.or.jp/>